

TechGALAプレスキット_9/2記者会見

概要

イベント名	TechGALA Japan
日程	2025年2月4日(火)～6日(木)
場所	愛知県名古屋市 栄地区(中日ホール&カンファレンス、ナゴヤ イノベーターズガレージなど) 鶴舞地区(STATION Aiなど)
時間	10:00-18:00(予定) ※オフラインのみでの開催予定
参加費用	有料(チケットは10月上旬発売開始)

記者会見当日のコメント ※2024/9/5更新

一般社団法人中部経済連合会 会長 水野明久

「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」プレス向けイベントにご参加いただきましてありがとうございます。Central Japan Startup Ecosystem Consortiumの代表を務めております中部経済連合会の水野でございます。

2020年に内閣府から愛知・名古屋・浜松がスタートアップエコシステムのグローバル拠点都市に選定され、5年目になります。この節目に、大規模なグローバルイベントである「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」が来年2月に開催されることは大変光栄に思いますし、経済界も大いに期待しているところです。

中部地域は製造業の集積地であり、ものづくりの中心地です。製造業(ものづくり)、基礎研究が一体となって、deep techを活用しながら国際的に競争力のあるスタートアップを生み出していくエコシステムを築くことを目的としてこのコンソーシアムは活動してきています。

最新技術、革新的なビジネスモデルをもつスタートアップが徐々に生まれています。このエリアにはグローバルで非常に強い既存の企業があり、そういった企業もこのエコシステムに加わり、そしてスタートアップとの協働がブレイクスルーする、一段と高いもの・新しいものを生み出す力となっていくことを私ども経済界も期待しています。

中部地域はスタートアップが盛んではないと言われ続けてきましたが、この「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」を起爆剤にして、一気にイメージを変えていきたいと思っておりますので、是非皆さま方の応援をよろしくお願いいたします。

東海国立大学機構 機構長 松尾清一

みなさんこんにちは。名古屋大学と岐阜大学を運営しています東海国立大学機構の松尾清一です。今日はお見えになった皆さん本当にありがとうございます。この地域は先ほどお話がありましたように、2020年といいますがちょうどコロナが蔓延しはじめた年なんですけども、スタートアップエコシステムグローバル拠点として選定をされてたところでありまして、これをきっかけに非常に盛り上がっています。名古屋大学はアカデミアとして中部経済連合会、そして愛知県、名古屋市、浜松市と連携して、deep techイノベーションの創出に力を尽くしてきたわけでございます。特に今から約10年前の2015年にトンガリというプラットフォームを国立のこの地域の5大学で創設して、アントレプレナーシップ教育やdeep tech発のスタートアップの起業支援、こういったものに取り組んできたわけですが、なんとこれが現在ではこの地域の27の国公立大学、そして研究機関が参画するまでに大きく発展しています。また東海国立大学機構では昨年10月に共同研究やスタートアップ育成をワンストップでサポートする子会社であるTokai Innovation Institute、TIIを設立し、TIIのもとにベンチャーキャピタルを設立する準備が進められています。これによりまして成長過程に応じた伴走支援やリスクマネーの供給などスタートアップを起業前から起業後にいたるまでシームレスに支援しようとしております。今回の「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」は東海地域が有する研究力や技術力を国内外に情報発信し、スタートアップエコシステムをアピールする一代イベントとなります。コンソーシアムの一員として、またアカデミアの牽引役としてテックガララの成功に向けて全力をあげて取り組んでいきたいということを表明いたしまして私からのメッセージとしたいと思います。今日はどうもありがとうございます。

愛知県知事 大村秀章

こんにちは。本日は来年2月に予定されます「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」のプレス向けイベントにご参加いただき誠にありがとうございます。「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」、「地球の未来を拓くテクノロジーの祭典」ということで、様々な新しい技術、また、スタートアップの皆さんが色々なアイデアを持ち寄ってイベント全体を盛り上げていくイベントとなります。全ては奥田さんの頭の中にあると思いますが、しっかりとした名古屋らしい濃い味付けで、日本中のみなさんがびっくりして喜んでいただける、そんな尖ったスパイスの効いた楽しい、とにかく面白いイベントにさせていただきたいと思っております。愛知県は中部経済連合会をはじめとした経済界の皆様と共にグローバルなスタートアップエコシステムを作ってまいりましたが、いよいよ来月10月には名古屋鶴舞に日本最大のスタートアップの支援拠点 STATION Aiがいよいよオープンとなります。オープン後の2025年2月に実施するグローバルイベントということになりますので、皆さんで盛り上げていきましょう。ありがとうございました。

名古屋市長 河村たかし

名古屋は第二次世界大戦のときに焼け野原になったが、そこから立ち直ってきた都市。海外では「Nagoya is the city of Dreams」と説明していて、ノーベル賞受賞者がいたり、自動車産業が強かったりと外からは幸運な都市に見えるが、実は大変な苦労がある中やってきた。中世から近世には三英傑が現れ、街を切り開いていった歴史があり、都市の持つこうしたエネルギーを活かしつつ、ご支援もいただきながら、新しい人材に出てきてもらいたい。産業はみんなで作らだしていくのが基本。精いっぱいやっていきたい。

サンキューベリーマッチ。

総合プロデューサー奥田浩美

皆さん、こんにちは。「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」プロデューサーの奥田浩美です。先ほど尖った人材が欲しいと知事はおっしゃっていましたが、私、自己紹介をするときには、どんな場所でも必ず言う言葉があります。私は未来から来ました、と自己紹介をします。未来というのは当然2050年から来ている訳ではなく、まだらにもう起きている、ある人は新しいテクノロジーをすでに手にして開発して、ある人はまだ誰も気づかない社会課題に面して、それをどうにか解決していこうとしている、そういう人たちがこのスタートアップや研究の世界には沢山いて、私はそういうところを毎日毎日飛び回っていて、だから、未来から来ましたという風に言っています。またスパイシーな味付けをという話がありましたけども、私、実はインドの大学院を出ていましてマザーテレサの研究をしていました。その後、1991年にシリコンバレーを起点とするようなグローバルイベントを立ち上げる事業をはじめました。こういったグローバルイベントに関わってもう30数年になります。世界の人たちがこういったステージで「私達は世界を変えます」というビジョンを語るという舞台を沢山作ってきて、そして今、未来からきた私が一番未来が作れると思った場所がこの愛知、名古屋です。これはお世辞で言っているのではなく、ある意味、日本の勝ち筋がここにあるんじゃないかという風に思っています。ですので、今回の「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」を構想したときのコンセプトに、地球の未来を拓くという大きなテーマを掲げました。私はいわゆる地域のイベントを作ろうと思っている訳ではなく、この地を出発点に地球の未来が語られるようなそんなイベントを作っていきたいと思っています。それにつけた名前が「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」なんです。この中でGALAという言葉を知っている方はいらっしゃいますか？GALAというのは元々はフランス語での祭典という意味なんですが、世の中ではGALA Partyという形で使われることが多い言葉です。今の時代にGALAというと、ある程度お金を持っている人たちが、この地球上の世界の何かを変えていこうという目的で寄付をしながら、かっこよく着飾ってパーティや会食をしたりするのがGALAです。私はこの名古屋は、何か物事を自分で変えたいとか、こういうことを集中させたいという時に、このGALA文化というのは日本の中でも一番相応しい地域なんじゃないかなという風に思っています。そこにかけてGlobal、Alliance、そしてLeadership、Advancementというこういった世界中からの参加者を集めて、そしてこの地域で日本の勝ち筋を見せていきたいと思っています。今回、MobilityやSustainable Environment、Materialといった5つのテーマを掲げているんですが、これは世界の潮流としてこれから先、最も伸びてくるでしょうし、前の3つのテーマに対しては特にこの地域はもうすでに先に走ってきているのではないかと考えています。Mobilityはというと、車に限らず、私達人間が幸せな形でどこかにどこにでも移動できるという意味では、自動車に限らない形でテーマを作りました。またEnvironmentに関しては、私この地域が一番すごいなと思ったのは、ある意味まだ日本の人たちが、愛とか地球とかそんな綺麗事を、なかなか通じない20年前も前に、本気で環境のためにも地球のためにも何かを変えていきたいと考えていた地域がこの地域だと思っていて、私もまさに愛があるところに存在する人間だと思っているので、この先端の中でも愛を持って地球を変えていくテーマを定めました。これについての詳細の説明は後ほどコンテンツのプロデューサーから説明があるかと思いますが、今回行われるのは、セッションもありますし、ハッカソン、これはもう走り始めています。あとピッチコンテストもありますし、サイドイベント、これは沢山色々なところから募っていききたいと思っています。さらにはネットワークキングで色んな場所で色んなことが起きていくことになると思います。明日、実はパートナー向けの説明会があるんですけど、もう200人以上の人がこの地域のために何かしたいという風に思っています。私は東京とこの地域のエコシステムで何が違いますかと聞かれる時に一番に言うのが、東京でこういうグローバルイベントやるというときに、東京のために東京を良くしたいとい

う人はとっても少なく、この地域はやはりこの地域のために協力したいという人がそれだけいて、さらにそこに協力したい人が21兆ですか、持っている訳ですよ。なので協力したい人がお金ならあるという地域は日本にはどこにもないと思っています。で、お金だけじゃなくても愛があふれるこの地域で2025年2月「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」が行われるということを私は本当に心から嬉しく思っています。外から来た人がプロデューサーですかと良く言われるんですけども、実は奥田家のお墓は熱田神宮の近くにありまして、私はここで生まれていないんですが、一族のお墓があるということで、私はここに何か変化を起こして、その変化が起きる瞬間の証人に皆さんになっていただきたいと思っています。では2025年2月「TechGALA Japan(テックガラジャパン)」でお会いしましょう。ありがとうございました。

主催

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

(中部経済連合会／名古屋大学／愛知県／名古屋市等)

一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市により、愛知・名古屋・浜松地域のスタートアップ・エコシステムを形成するために組成されたコンソーシアム。2020年7月には、愛知・名古屋及び浜松地域がスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」として内閣府から選定されており、当地域一丸となって、スタートアップの創出及び育成支援に努めています。



スペシャルパートナー

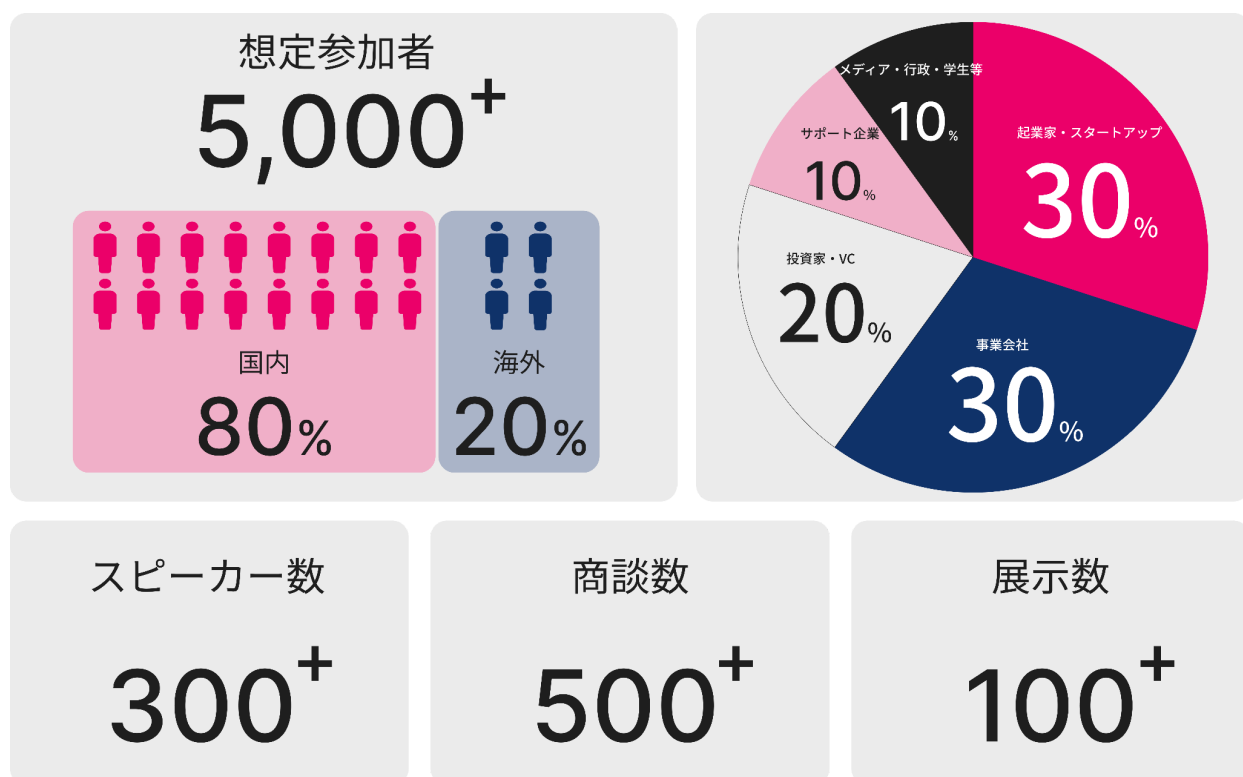
「Tech GALA Japan」の企画・運営に対して、全面的な協力をいただいております。

- ・JETRO名古屋(独立行政法人日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター)
- ・STATION Ai株式会社

参加者属性

総勢5000名以上の集客が見込まれるTechGALA。これまでの日本のカンファレンスとは違い、よりグローバルな参加者の割合を高め、多様な属性を持つ人々が一堂に会します。

その他、300名以上のスピーカーや500以上の商談、100以上の展示が展開されます。



イベントコンセプト

国内のみならず世界中から、現在の社会をリードする各分野のプロフェッショナルたちが集結。革新的なテクノロジーや社会創造などさまざまな文脈で、世界的なネットワークを創出するグローバルイベントです。

セッションプログラムは多岐にわたり、愛知・名古屋が世界に誇るモビリティ、マテリアル、宇宙産業、ライフサイエンスなど、各分野において、最前線で活躍する方々が一堂に会します。また、世界中から集まった参加者とのネットワーキングやパーティー、最先端企業の展示ブースでの技術体験、新

進気鋭のスタートアップによるピッチコンテスト、さらにはハッカソンや名古屋全体を巻き込んだサイドイベントなど、数多くのインタラクティブな体験を用意しています。

TechGALAにへ参加することで、グローバルかつ最先端の技術と、イベント終了後も続くコミュニティがあなたを待っているでしょう。一期一会ではない、継続的な交流と学びの場を提供します。TechGALAは、あなたのキャリアと視野を大きく広げる、まさに世界規模のイノベーションの祭典です。

地球の未来を拓く、 テクノロジーの祭典へようこそ。

世界的なイノベーションの発信地であり、地球との共生を目指し、先進的な取り組みに邁進する都市、愛知・名古屋。

2025年2月。

地域や文化、性別や人種、あらゆる壁を越え、ここに、新たなコミュニティが誕生する。

語られるのは、革新性の高いテクノロジー。そして、刺激的な未来予想図。

ビジネス、サイエンス、エンジニアリング...。業界や職種の枠に囚われず、いま現在の社会をリードするプロフェッショナルたちが集結し、新たな連携を生み出す。

その瞬間を、あなたと一緒に目撃したいと思う。

「TechGALA」。新たな時代の道標となる祭典。ともに希望を歌い、未来を照らす灯火を掲げよう。

G lobal	世界中からの参加者とアイデアの集約
A lliance	異なる分野・文化の人の協力・連携
L eadership	イノベーションの未来の方向性を牽引する力
A dvancement	最新の技術とアイデアの進展

コンテンツテーマ

TechGALAではイベント全体を通じて主に5つのテーマに根ざしたコンテンツを展開して参ります。愛知・名古屋が誇る産業を基に、グローバルアジェンダと紐づけたこれらのテーマは、TechGALAがもつユニークなポイントです。

◎**MOBILITY**: 境界を超えるモビリティ革命

モビリティの概念を拡張した未来の移動をテーマに、より豊かな生活を実現するボーダレスな社会の構築に必要な要素を探ります

◎**SUSTAINABLE ENVIRONMENT**: 持続可能な地球環境の実現

地球環境の課題と機会が混在する中で、持続可能でレジリエントな地球システムを構築し実現するために国際社会、企業、そして個人がどのように協力して取り組むべきかを、最新のテクノロジーとともに探ります。

◎**MATERIAL**: マテリアル革新力・世界産業全体の強靱化

既存の素材の進化、そして革新的なマテリアルによってもたらされる新たな産業、その先に訪れる変革された未来の社会を探ります。

◎**LIFE SCIENCE / WELL-BEING**: ライフサイエンスとWell-beingの革新

最先端のライフサイエンスとWell-beingの向上が、持続可能な社会の構築にどう貢献するかを探ります。

◎**ADVANCED TECHNOLOGY**:テクノロジーとの共生:産業革新と社会変革
デジタルインクルージョンが促進される社会において、AI、ロボティクス、量子コンピューティングといった先端技術がもたらす新たな価値の創造や解決される社会課題を探ります。

コンテンツ登壇者リスト

国内のみならず世界中から、現在の社会をリードする各分野のプロフェッショナルたちがセッションに登壇します。第一弾スピーカーとして、下記の皆様の登壇が決定いたしました！
(今後、スピーカーは随時追加される予定です。)

Dr Adriana Marais

Off-World Project



南アフリカの科学者で、宇宙探査と持続可能性を専門とする。マースの有人探査ミッションに関与し、惑星科学や宇宙技術の発展に貢献。未来の宇宙コロニーの設計に取り組んでいる。

Marcus Brauchli

Managing Partner and Co-Founder of North Base Media
Former Executive Editor, Washington Post
Former Managing Editor, Wall Street Journal



2008年9月から2012年12月までワシントン・ポスト紙のエグゼクティブ・エディターを務め、ウォール・ストリート・ジャーナル紙のトップ・エディターとして24年間、アジア、ヨーロッパ、米国の特派員兼編集

者として活躍した。

江守正多

東京大学 未来ビジョン研究センター 教授



1970年神奈川県生まれ。1997年に東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程にて博士号(学術)を取得後、国立環境研究所に勤務。同研究所 気候変動リスク評価研究室長、地球システム領域 副領域長等を経て、2022年より現職。東京大学大学院 総合文化研究科で学生指導も行う。専門は気候科学。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次および第6次評価報告書 主執筆者。著書に「異常気象と人類の選択」「地球温暖化の予測は『正しい』か?」、共著書に「地球温暖化はどれくらい『怖い』か?」、監修に「最近、地球が暑くてクマってます。」等。記事やコメントは個人の見解であり、所属組織を代表するものではありません。

酒井里奈

株式会社ファームステーション 代表取締役



国際基督教大学(ICU)を卒業後、富士銀行、ドイツ証券など金融系複数社に勤務。その後、発酵技術に興味を持ち、東京農業大学応用生物科学部醸造科学科に入学、2009年3月卒業。同年、株式会社ファームステーションを創業し代表取締役就任(現任)。

小木曾 麻里

株式会社SDGインパクトジャパン 代表取締役Co-CEO



インパクト投資、社会起業家支援、インクルーシブビジネスの促進などSDG実現のためのビジネス、特にSDGファイナンスに幅広く携わる。2017年には国内で初めてのジェンダー投資ファンドであるアジア女性インパクトファンドを設立。世界銀行資本市場部、世界銀行グループ多国間投資保証機関(MIGA)東京代表、ダルバークジャパン代表、ファーストリテリンググループのダイバーシティ担当部長および人権委員会事務局長を歴任。W20日本デリゲート、国際協力機構海外投融資委員会有識者委員、WE Empowerのアドバイザーを務める。東京大学経済学部卒業。タフツ大学フレッチャー校修士。

松田崇弥

株式会社ヘラルボニー代表取締役Co-CEO



小山薫堂が率いる企画会社オレンジ・アンド・パートナーズ、プランナーを経て独立。4歳上の兄・翔太が小学校時代に記していた謎の言葉「ヘラルボニー」を社名に、双子の松田文登と共にヘラルボニーを設立。「異彩を、放て。」をミッションに掲げる福祉実験カンパニーを通じて、福祉領域のアップデートに挑む。ヘラルボニーのクリエイティブを統括。東京都在住。双子の弟。世界を変える30歳未満の30人「Forbes JAPAN 30 UNDER 30」受賞。著書「異彩を、放て。—「ヘラルボニー」が福祉×アートで世界を変える—」。

安田クリスティーナ

SPRIN-D



パリ政治学院政治学部法学部を主席で卒業。2016年に米NGO InternetBar.orgのディレクターに就任し、途上国における身分証明インフラを整備するデジタル・アイデンティティ事業を新設。19年にマイクロソフトに入社し、分散型IDを含む身分証明規格の国際標準化に取り組む。同年、Forbes Japan 30 Under 30 に選出。2020年には、MIT Technology Review Innovators Under 35 Japanにも選出。今年3月より、ドイツ政府のデジタルイノベーション局にて、Identity System Architectとして活躍。分散型IDサービスのインフラの構築を通じて、全ての人に身分証明手段を提供することを目指している。

アンバサダーリスト

主に広報、PRにご協力いただきます方々をアンバサダーとして任命いたしました。現在、国外2名、国内9名の方にご協力をいただいております。

Antti Sonninen

Takeoff Tokyo Co-founder, CEO



Marcus Brauchli

Managing Partner and Co-Founder of North Base Media
Former Executive Editor, Washington Post
Former Managing Editor, Wall Street Journal

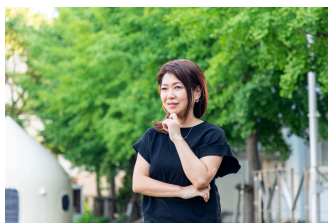


NIKO WOISCHNIK

Tech Open Air
CEO



粟生 万琴
株式会社LEO 代表取締役
なごのキャンパス 企画運営プロデューサー
武蔵野大学アントレプレナーシップ学部教授



青山裕紀
株式会社Splink 代表取締役



今田 素子
株式会社メディアジーン 代表取締役CEO



中村 亜由子
株式会社eiicon 代表取締役社長



西山 直隆
Tech Japan株式会社 代表取締役



藤田 豪
株式会社MTG Ventures代表取締役



藤本 あゆみ
一般社団法人スタートアップエコシステム協会 代表理事



牧野隆広
株式会社ミライプロジェクト 代表取締役



その他のコンテンツ紹介

▼ハッカソン「HackGALA」



HackGALA(ハックガラ)とは、TechGALA主催のハッカソンです。社会を変えるアイデアを発想し(アイデアソン)、仲間と一緒にカタチにして(ハッカソン)、審査を経て選抜されたチームがプレゼンテーションへと臨む一連のプログラムを、任意のタイミングからご参加いただけます。

記念すべき第一回目のテーマは、「BLACK BOX」。現代社会をとりまくBLACK BOXについて、その仕組みや本質について考え直し、AIをはじめとしたテクノロジーを駆使してアップデートしましょう！

<https://techgala.jp/hackathon/>

▼ピッチコンテスト「TechGALA Global Startup Showcase」



TechGALA Global Startup Showcaseと題した大規模なピッチコンテストを開催します。このコンテストは、海外市場を目指す日本のスタートアップ、そして日本市場を狙うグローバルスタートアップが挑戦できる場となります。

TechGALAの5つのテーマに沿って、世界を変える革新的なアイデアとテクノロジーを持つスタート

アップを広く募集します。愛知・名古屋という日本の中心地で、新しいパートナーシップや市場展開の機会を見つけてください。この機会を逃さず、共に未来を創り上げましょう。

<https://techgala.jp/pitch/>

▼サイドイベント

名古屋の街全体が舞台となるTechGALAのサイドイベントは、早朝から深夜まで1日中開催されます。あらゆる企業が主催する交流会はもちろんのこと、ウェルビーイングプログラムや勉強会、ワークショップなど、多種多様なプログラムが目白押しです。

また、どなたでもサイドイベントの主催者となることが可能です。サイドイベントの募集はすでに開始しておりますので、独自のアイデアで愛知の街を一体となって盛り上げましょう！

<https://techgala.jp/side/>

▼ネットワーキング

登壇者や一部のチケットをお持ちの参加者の方に向けて、ネットワーキングを行う場を提供します。ラウンジや交流スペースの設置はもちろんのこと、事業会社と投資家等と1on1のミーティングを短時間で行うスピードデイトング、登壇後のスピーカーと机を囲みディスカッションするラウンドテーブルなど様々な形態で交流する場を設けております。